

2020年度
地球環境『自然学』講座
第6回

テーマ

そして、ぼくは旅に出た。
北米ノースウッズの森へ

講 師

写真家
大竹 英洋 先生

2020年12月19日

認定NPO法人・シニア自然大学校

講師プロフィール

大竹 英洋（おおたけ ひでひろ）



1975 年京都府舞鶴市生まれ、東京都世田谷区育ち。一橋大学社会学部卒業。

1999 年より北米の湖水地方「ノースウッズ」をフィールドに野生動物、旅、人々の暮らしを撮影。人間と自然とのつながりを問う作品を制作し、国内外の新聞、雑誌、写真絵本で発表している。

主な写真絵本に『ノースウッズの森で』、『春をさがして カヌーの旅』、『もりはみている』など(以上全て福音館書店)。2011 年、NHKBS「ワイルドライフ」に案内人として出演。

写真家を目指した経緯とノースウッズへの初めての旅を綴ったノンフィクション『そして、ぼくは旅に出た。 はじまりの森 ノースウッズ』（あすなろ書房）で「第七回梅棹忠夫・山と探検文学賞」受賞。

2018 年「日経ナショナル ジオグラフィック写真賞 ネイチャー部門最優秀賞」受賞。

2020 年、撮影 20 年の集大成となる写真集『ノースウッズ 生命を与える大地』（クレヴィス）を出版。

ノースウッズ 生命を与える大地

ノースウッズとは、北米大陸の北緯45度から60度にかけて広がる、森林地帯の呼称である。地質はカナダ楕状地と呼ばれる20億年以上前に形成された岩盤で、見渡す限り高い山脈はなく、針葉樹を主とする北方林（ボレアル・フォレスト）に覆われている。

一年のおよそ半分を冬が占め、気温がマイナス30度以下になることも珍しくない。また、約1万年前の最後の氷河期が残っていた無数の湖が点在し、北米の湖水地方としても知られている。

シベリアのタイガや南米のアマゾンにも匹敵する世界最大級の原生林であり、多様な野生動物たちが生息している。豊かな水辺は、水鳥たちの生まれ育つ故郷となり、ハドソン湾岸の泥炭層は、ホッキョクグマにとって貴重な営巣地となっている。

また、この地では7,000年以上の昔から、先住民たちが狩猟採集の生活を営み、人々は水上の移動手段としてカナディアン・カヌーを生み出した。そして、17世紀から19世紀に、フランスやイギリスの毛皮商人たちが、ビーバーの毛皮を求めて押し寄せ、原野の奥地にまでカヌーによる交易網を発達させたことが、カナダ近代国家の礎となった。

現在は、州立公園や国立公園など多くの自然保護区が存在し、カヌーや釣りといったアウトドア・レクリエーションに優れたフィールドとなっている。また、2018年にはオンタリオ州とマニトバ州にまたがる4つの先住民コミュニティと2つの州立公園が、カナダ初の世界複合遺産「ピマチオウィン・アキ」として登録され、豊かな自然と人間の暮らしが織りなす文化的景観の好例として世界的な注目を浴びつつある。

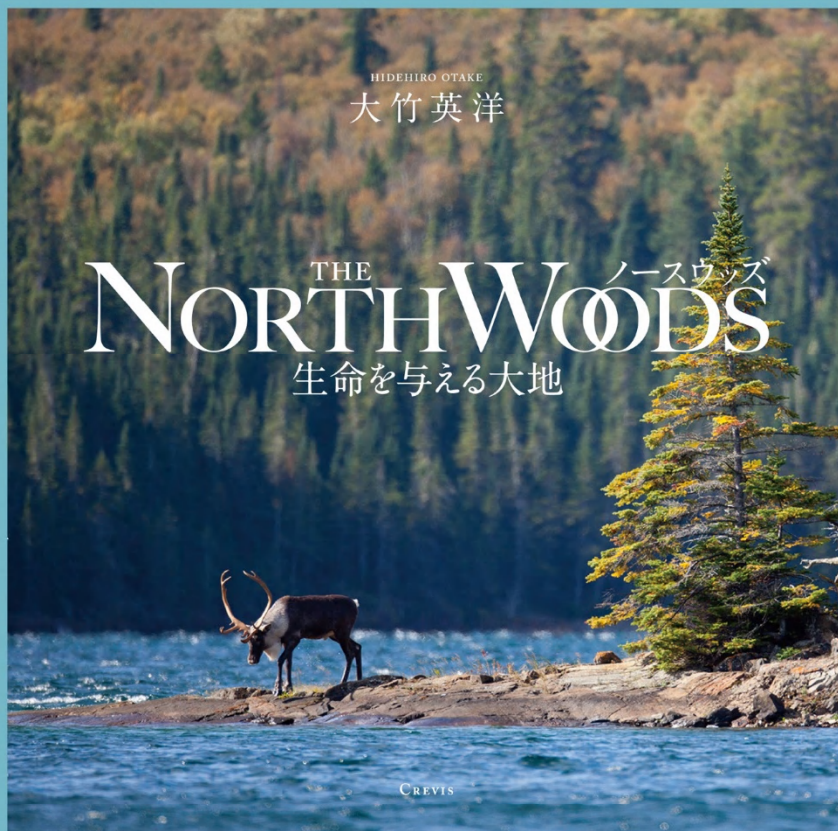
本講演では、写真家として約20年に渡って「ノースウッズ」を舞台に追い求めてきた人と自然の物語を伝えたい。北国ならではの自然風景、知られざる野生動物たちの暮らし、カヌーやソリによる旅のフィールドとしての魅力、そして、先住民の歴史や文化…これら4つの要素を軸に、実際の写真や映像を交えて語る。

最後に、なぜ、この地で狩猟採集の暮らしを営んできた先住民アニシナベが、自分たちをとりまく自然を「ピマチオウィン・アキ」＝「生命を与える大地」と呼ぶことにしたのか、その言葉の背景にある自然観にも触れたい。

大竹英洋

大竹英洋 初写真集

撮影20年の集大成



知られざる 森と湖の世界へ

太古から、人と自然の物語が紡がれてきた
世界最大級の原生林、ノースウッズ。
カナダ初の世界複合遺産
「ビマチオウィン・アキ」を含む
恵みの大地で、旅をつづける写真家の
眼と心に映ったもの。

【写真家】
ジム・ブランデンバーク 序文より

賞賛に値する
視覚芸術家としての
みごとな成熟……
まさしく情熱の一冊だ。

【カナダ先住民アニシナベ】
ソファイア・ラブロースカス 寄稿より

彼のおかげで、わたしたちの物語に
もうひとつの地平が、つけ加えられたのです。

216ページ | 掲載180点超 | 定価: 本体2,500円+税 | Creviss

HIDEHIRO OTAKE

大竹英洋



1975年京都府舞鶴市生まれ、東京都世田谷区育ち。一橋大学社会学部卒業。1999年より北米の湖水地方「ノースウッズ」をフィールドに野生動物、旅、人々の暮らしを撮影。人間と自然とのつながりを問う作品を制作し、国内外の新聞、雑誌、写真絵本で発表している。主な写真絵本に『ノースウッズの森で』、『春をさがして カヌーの旅』、『もりはみている』など(以上全て福音館書店)。2011年、NHK BS「ワイルドライフ」に案内人として出演。写真家を目指した経緯とノースウッズへの初めての旅を綴ったノンフィクション『そして、ぼくは旅に出た。はじまりの森 ノースウッズ』(あすなろ書房)で「第7回梅棹忠夫・山と探検文学賞」受賞。2018年「日経ナショナル ジオグラフィック写真賞 ネイチャー部門最優秀賞」受賞。[www.hidehiro-otake.net]

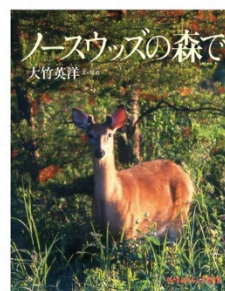


ノースウッズとは北米大陸に広がる、無数の湖と世界最大級の原生林を有した森林地帯の呼称であり、多様な野生動物たちが生息しています。また、古くから先住民によって狩猟採集の暮らしが営まれ、カナディアン・カヌー発祥の地としても知られています。現在は多くの自然保護区が存在し、豊かな自然と人間の暮らしが織りなす文化的景観として注目を浴びつつあります。

大竹英洋
そのほかの
著書



春をさがして カヌーの旅
(たくさんのふしぎ傑作集)
福音館書店 2020年2月



ノースウッズの森で
(たくさんのふしぎ傑作集)
福音館書店 2011年3月



そして、ぼくは旅に出た。
はじまりの森 ノースウッズ
あすなろ書房 2017年3月